



夕日が島の先端に重なる瞬間!

ローソク島は、高さ約20mの高さで、そびえ立ち海面には、きちんと燭台や、また先端には芯まできちんとあります。島の先端に夕陽が重なるその瞬間、まるで一本の巨大なローソクに火を灯したように輝きます。船上からしか観ることのできない島と夕陽の芸術作品なのです。ただこの瞬間は日没の時刻、雲の動き、風や波などの気象条件に左右されて、いつでも、見えるとは限りません。

● ローソク島



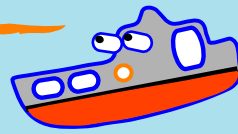
● 展望台2からの風景



★ 展望台2

ローソク島を中心に周囲に岩礁が広がっています。ちょっと海が時化している時は、ローソク島にぶち当たる荒波が放射状に散っていく光景に迫力があります。いつまでも、見ていて飽きない風景です。

右側の海岸に、島の先端が鋭く尖った鉄砲岩、隣は馬背島が見えます。この辺りは溶岩が流れて急に冷えて固まった為、縦に割れ目が入っている。見事な柱状節理が見られるスポットです。



● ローソク島と遊覧船



● 遊覧船からの風景



● 展望台2からの風景

3: 尾白鼻園地

～ポイント地点 距離～
 駐車場-20m→展望台1
 駐車場-840m(15分)→展望台2
 展望台2-840m(20分)→駐車場



● 鉄砲岩・馬背島



● 展望台1からの風景



★ 展望台1

展望台1から望むローソク島は、ろうそくの形にはちょっと程遠い風景です。島の先端に太陽が重なる瞬間は遊覧船でしか見る事ができない光景です。

■ 休憩所

屋根付きで、木で出来た大きなテーブルとイスが設置されています。弁当を食べたい、お茶をしたい、ゆったりとした時間を過ごす事ができる空間になっています。



休憩所

駐車場



看板



■ 展望台2への遊歩道

行きは全て下り、帰りは全て上りで距離は840mあります。未舗装の幅広の遊歩道で、雨水で乾かれ少し荒れている場所もありますがスタスタ歩きやすい遊歩道です。しかし、帰りは全て上りですので、途中から足がバンバンになって、ちょっと辛くなるかもしれません。その為、遊歩道に下りる場所に、杖が用意されていますので体力に自信が無い方は、利用された方がよいでしょう。

この遊歩道を歩いてみてください。歩く前と歩き終わった後、自分の気持ちに変化があるかもしれません。一歩一歩上る時、ちょっと足がだるくなる事もあるかもしれませんが成し遂げた時、ちょっとした達成感が明日の何かに活かされるかもしれませんね。



←下り

下草も生えていて、線が目に見える

下り

五箇 方面